

「今から 10 年後、あなたは何をしていますか。またその具体的な理由は何ですか。」

私が大学を受験した年の二次試験に出題された英作文の問題です。

みなさんは 10 年後の自分の未来を想像することはできますか？技術の発展や現在の新型コロナウイルスの流行に見られるように、状況はどんどん変化し何が起ころか分かりません。そうでなくても、自分の将来を想像することは簡単ではありませんよね。では 1 年後、2 年後、卒業後はどうでしょうか。進路を考える際には入試に関する情報はもちろん、興味のある分野、学科や授業など、進学後の自分の姿をイメージして様々なところから情報を集めてみてほしいと思います。

私が高校生の際は「もっと英語を勉強したい」という動機から進路を考え始めましたが、大学について調べ実際にオープンキャンパスで授業を受けたり、学生の話を知ったりしたほか、学校で外国語学部出身の先生に学生時代の様子を伺ったことが勉強のモチベーションに繋がりました。大学生活を終えて振り返ると、事前のサーチによって得た情報がすべてというわけではありません。しかし集めた情報のうち進路選択の決め手になり、大学生活の大きな助けになったことのひとつは専攻の内容に関することでした。大学のホームページには学部・学科の紹介に実際に行う講義の内容や制度が載っているため、漠然としたイメージが少し具体的になります。惹かれる分野や内容をいくつか見比べてみると、自分の進んでみたい方向がだんだんはっきりしてくると思います。三年生であればより詳しい入試情報を得て赤本を解く、基礎を詰めるなど、自分に必要なことを分析してどんどん勉強に取り組みたいところです。

また、大学は学問だけではなく多くの刺激を受けることができる場所です。私が 3 月まで通っていた大学は外国語学部の 1 つしかなく一学年約 500 人、全学年合わせても 2000 人程度の小さな大学でした。卒業式には一人ひとり名前が呼ばれ、それぞれが専攻した言語で返事をするのが伝統となっています。そんな小さなコミュニティにも様々な人がいて、外国人の教授や留学生だけでなく、海外に行く人、社会人として働きながら学校に通う人、定年退職後に大学に入学した人など年齢も経験も様々な学生と一緒に勉強していました。このような環境の中で過ごすうちに、様々な生き方や考え方があることが特別ではなく当たり前のことだと思えるようになったことは、大学で得た大きな経験でした。学校の様子などもやはり調べてみることは大切です。

みなさんは卒業後の自分にどんなことを期待しますか？ぜひ情報を自分の勉強と進路実現に活かし、前に進んでください。

<文責：今村>